

なないろ アフリカ大陸で「レインボー・フラッグ」と呼ばれる国旗の国があるらしい
「どこの国？なんでレインボー・フラッグ？」
誰か、教えてください・・・



川口市立戸塚中学校
46期2学年通信 No.39
令和6年7月18日(木)

Summer Vacation Plan

いよいよ中学校生活2回目の夏休みが見えてきましたね。夏休みの過ごし方をどう考えていますか？
中2の夏休みは、**やったことが自分に返ってくる**、もっとも成長できる時期だと考えられます。この夏休みをどう過ごすかで今後の、**中学校生活は大きく、異なります。「成長した」と胸を張って言える、最虹の夏休み**にするために大事な2つのことを紹介します。

① 自由な時期 ～生活リズムを整えよう～

普段、学校がある日は嫌でも毎日6時間は机の前に座っているでしょう。しかし、夏休みはどうでしょうか？後輩が部活動も忙しくなり、中学校入学時の緊張感もなくなり、夏は暑い。ダラダラするための条件が整ってきていませんか？

受験に勝つためには学習習慣の確立が大切だということは言うまでもありませんが、習慣とは一日二日で身に付くことはありません。2年の夏休みから「意識している」という、みんなできてくれればなと思います。ダラダラに負けず、短時間でも机に向かう習慣をつけておきましょう。

② 止まる時期 ～苦手分野の克服のとき～

小学生で学んだ「算数」、いつの間にかちょっとカッコ良くなって「数学」。数学では2学期は「方程式」とかいうカッコ良いやつを学んでいきます。2年生では「連立方程式」、3年生では「二次方程式」大学では「ラグランジュ方程式」、「シュレーディンガー方程式」なんかも学びました。これらは連鎖している単元で、最初で躓いてしまうと習得するのは非常に困難となります。「入試までに克服すれば大丈夫。」本当にそれで大丈夫？学校の授業が止まるこの時期に苦手分野を根っこから学び直しましょう。

最後に、夏休みに何をしたいのか、未来をどう変えたいのか。

時間は、過去 → 現在 → 未来 という順序で流れますが、潜在意識や脳のなかでは違います。

脳の中では未来が一番最初にきます。

例えば、僕らは目的がないと一歩も歩けません。歩いているときには必ず目的があります。駅に行くとか、コンビニに行くとか、ライブに行くとか目的（未来）が先にあって行動（現在）が起きます。そして、それが結果（過去）になります。未来→現在→過去の法則を覚えておきましょう。

「未来をどうしたいのか？」これが一番大切なのです。

そして、46期全員で、最虹の夏休みを満喫しよう。